

# 3 学年 英語科学習指導案

日時 平成27年11月10日(火) 第4校時  
学級 第3学年 (アドバンスクラス)  
男子3名 女子5名 計8名  
指導者 教諭 島川 厚志  
場所 久慈市立大川目中学校

1 単元 Sunshine English Course 3(開隆堂)  
PROGRAM7 What is the Most Important Thing to You

## 2 単元について

### (1) 単元観

本単元は、世界中でボランティア活動を行いながら途上国を支援し、また途上国のために働く意欲のある人材を育成する取組を続ける山本敏晴さんの活動について学ぶ。山本さんが取り組んでいる「お絵かきプロジェクト」の活動を通して、アフリカや南太平洋の途上国の現実を知り、自分の夢や希望を持って生きる子供たちの描いた絵に込められた力強いメッセージを読み取ることで、国際協力の意義や私たち一人一人に何ができるのかなどを考えさせることができる題材である。また、山本さんの生き方や考え方について学ぶことを通して、自分の生き方や在り方について考えを深めることが期待できる。

本単元の新出言語材料は、関係代名詞主格(who, which, that)であり、これらは人やものについて詳しく説明する際に多用される表現である。この言語材料を活用し、英語による人や物のより詳しい説明の仕方を身に付けることや、豊かな表現力を育成することが期待できる。

### (2) 生徒観

3年生は、英語学習に対してどの生徒も前向きに積極的に取り組んでいる。平成26年度岩手県学習状況調査結果においても、平均正答率が70%をこえており、理解力の低い生徒も少ない。そこで、さらに英語力を伸ばしていくために、英語が得意な生徒の力をより伸ばしていくことに主眼をおき、習熟度別少人数クラスを編成した。アドバンスクラスでは、生徒同士でも大変仲がよく、ペアでの活動も積極的に行い、学習意欲が高いというのが全体的な印象である。

### (3) 指導観

今日、多くの日本人が海外でボランティアとして働いている。また本校生徒もUNICEF活動を行っているが、あまり身近なものになっていない。そこで、山本敏晴さんの書籍や活動を紹介する映像・写真等を導入の場面で十分に紹介することにより、生徒の「国際協力」に対する背景知識を活性化し本題材に対する興味を持たせたい。また、山本敏晴さんの活動の一つである「お絵かきプロジェクト」について学ぶことを通して、山本さんの生き方・考え方に共感し、自分自身の生き方や在り方を考える機会にする。

高校では現在、英語で英語の授業を行うことを基本としている。中高のスムーズな接続を意識し、中学校でも既習の表現を授業の中で積極的に使用する事で、英語を「コミュニケーションの手段とし

での英語」として捉えさせ、自然な形で英語に触れさせたい。また、準備をした上でのコミュニケーションだけではなく、即興性のある活動を取り入れ、実際の使用場面を想定した言語活動を展開したい。年間を通して、自己表現につながる音読指導を通して、コミュニケーション能力を育てていきたい。

### 3 本単元で育てたい力（CAN-DOリストから）

- (1) 与えられたテーマに基づいて、相手に内容が伝わるように1分程度のスピーチができる。
- (2) 正しい強勢、イントネーション、基本的な区切りについて理解することができる。
- (3) 語句や連語などに関する知識を理解し、活用することができる。

### 4 単元の目標

- (1) 関係代名詞や既習事項を活用しながら、大切なものや人について、まとまりのある文章を発表することができる。
- (2) 山本敏晴さんの活動について、本文の内容を正しく読み取ることができる
- (3) 関係代名詞(主格)who, which, that の文構造・意味・用法を理解することができる。
- (4) ペアやグループ学習を通してお互いに協力し学習しようとする態度を養い、コミュニケーション活動に取り組む姿勢を育てる。

### 5 単元の評価規準

時	ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 表現の能力	ウ 理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
聞くこと			①聞いた内容について大事な部分を聞き取ることができる。	
話すこと	① 関係代名詞や既習事項を用いて、間違いを恐れずに積極的に話そうとしている。	① 関係代名詞や既習事項を用いて、人や物を説明するまとまりのある英文を話すことができる。		①主格の関係代名詞を用いた文の意味・構造等に関する知識を身に付けて話すことができる
読むこと			②書かれた内容について、時、場面、状況を理解し正しく読み取ることができる。	
書くこと	②学んだ表現を使って積極的に書こうとしている。	②関係代名詞や既習事項を用いて、人や物を説明するまとまりのある英文を書くことができる。		②関係代名詞を用いた文の語順を理解して正しく書くことができる。

6 単元計画（全7時間）

時間	ねらい・学習活動	単元の評価 規準	評価方法
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 関係代名詞who(主格)の構造を理解する</li> <li>・ 関係代名詞who(主格)の構造を理解する。</li> <li>・ 関係代名詞whoを使って積極的に話したり語順を理解して正しく書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ア ①②</li> <li>エ ①②</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>観察</li> <li>ワークシート</li> <li>後日ペーパーテスト</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教科書本文(Part1)の表現を用いて山本さんが活動したことを1人称で話す。</li> <li>・ 書かれた内容について正しく読み取る。</li> <li>・ 音読練習をする。</li> <li>・ 関係代名詞を用いて、山本さんが活動したことを1人称で話す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ウ ①②</li> <li>イ ①</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>発表</li> <li>自己評価カード</li> <li>後日ペーパーテスト</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 関係代名詞which(主格)の構造を理解する</li> <li>・ 関係代名詞which(主格)の構造を理解する。</li> <li>・ 関係代名詞whichを使って積極的に話したり語順を理解して正しく書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ア ①②</li> <li>エ ①②</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>観察</li> <li>ワークシート</li> <li>後日ペーパーテスト</li> </ul>
4 本 時	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教科書本文(Part2)の表現を用いて、途上国の子どもたちが描いた絵の内容を英文で話す。</li> <li>・ 書かれた内容について正しく読み取ることができる。</li> <li>・ 音読練習をする。</li> <li>・ 途上国のこどもたちが描いた絵の内容を英文で話す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ウ②</li> <li>イ①</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>発表</li> <li>自己評価カード</li> <li>後日ペーパーテスト</li> </ul>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 関係代名詞that(主格)の構造を理解する</li> <li>・ 関係代名詞that(主格)の構造を理解する。</li> <li>・ 関係代名詞thatを使って積極的に話したり語順を理解して正しく書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ア①②</li> <li>エ①②</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>観察</li> <li>ワークシート</li> <li>後日ペーパーテスト</li> </ul>
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 山本さんにとって大切なものは何か考え、教科書本文(Part3)を用いて、英語3文で書く。</li> <li>・ 書かれた内容について正しく読み取ることができる。</li> <li>・ 音読練習をする。</li> <li>・ 山本さんにとって大切なものを英語3文で書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ウ①②</li> <li>イ②</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>発表</li> <li>自己評価カード</li> <li>後日ペーパーテスト</li> </ul>
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 人物や大切なものなどを関係代名詞を使って紹介する文をつくる。</li> <li>・ 関係代名詞who、whichを用いて、まとまりのある英文を書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>イ②</li> <li>エ②</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>発表</li> <li>ワークシート</li> </ul>

## 7 本時の目標

### (1) 目標

① 既習事項を活用しながら、途上国の子どもたちが描いた絵の内容を英文で話すことができる。

【表現の能力】

② 途上国の子どもたちが描いた絵に関する英文の内容を正しく読み取ることができる。

【理解の能力】

### (2) 評価

① インタビューを行い、途上国のこどもたちが描いた内容を英語で説明することができる。イ①

② 途上国の子どもが描いた絵に関する英文の内容を正しく読み取ることができる。ウ②

### (3) 本時の展開

過程	学習項目	学習活動	・指導上の留意点 ○評価
導入 5分	1 Warm Up ・前時の復習	・ペアでベーシックダイアログを 発表する	・既習の表現を使いなが ら会話をしている か。
展開 30分	学習課題の把握	・学習課題を把握する	
	途上国の子どもたちが描いた絵の内容をパートナーに伝えよう。		
	2 本文セクションの 内容理解	対訳シートを解く ・内容確認	○途上国の子どもたちが 描いた絵に関する英文の 内容を正しく読み取るこ とができたか。
	3 音読練習	音読練習を行う ・全体、個人 ・ペアリーディング 英→日 日→英 読み ・同時読み ・イメージリーディング	・内容をイメージしながら 音読できているか。
	4 タスク活動	途上国の子どもたちが描いた絵の 内容について即興でインタビュー形 式の会話をする。	○インタビューを行い、途 上国のこどもたちが描いた 内容を英語で説明すること ができる。 (活動の観察)
5 発表	・それぞれのペアで発表		
まとめ 15分	6 本時の振り返りと 家庭学習の確認	・感想発表しあう。 ・絵を説明する英文を書く。	・自己評価カードの記入